

消防団の活動

実践訓練

- 年間を通して、風水害や
- 震災など、さまざまな災
- 害を想定した訓練を行
- います。また、応急手当な
- どの基礎的な講習も受け
- ます。



整備点検

- いつ災害が起きても対応
- できるように、消防団が
- 持っている車両やポン
- プ、地区の防潮扉を毎月
- 点検しています。



地域活動

- 春と秋の火災予防運動の一
- 環として消防訓練に参加し
- ています。手筒花火の残り
- 火を消火する、祭りの警備
- も活動の1つです。
- また、団員同士の交流を
- 図るソフトボール大会も行っ
- ています。

年末夜警

12月27日(金)～30日(月)
消防署と合同で市内各所
を巡視警戒します。

第3分団
山崎 貫太

高校を卒業した今年の4月に消防団に入りました。きっかけは、小学生の時に地域の防災訓練で消防団の方を見たことです。その姿はともかくよく、消防団員はどんな人でもなれると知り、大人になったら絶対にやると決心しました。昔からの憧れだった消防団に入団することができてうれしいです。

最初は、消防団には体育会系のイメージがあったし、第3分団は自分の親世代の人ばかりなので、最初はうまくコミュニケーションがとれるか心配でした。でも、皆さんはとてもフレンドリーで、すぐに打ち解けることができました。大学に通いながら訓練に励んでいます。無理のない範囲で参加できるように、学業と両立していきます。

実際に出勤したことはまだありませんが、有事の時には動けるように訓練しています。7月には消防機器の操作技術を競い合う消防操法大会があり、蒲郡市からは僕たちの第3分団が出場しました。大会前は週2回、朝5時から練習があり、少し大変でした。第3分団のメンバーはいつもニコニコしているのに、練習が始まるとスイッチが入り、目つきが変わるんですね。真剣なまなざしがとてもかっこよくて、自分もあんな風になりたいと思いました。

消防団に入って、人を助けるという意識が一層高まりました。今後も地元に住み続けて、この蒲郡を守っていきます。そして、自分と同世代のメンバーを一人でも多く増やし、平和のバトンを次の世代へつなげていきたいです。